

白山国立公園

Hakusan National Park



靈峰白山　－水の神が宿る信仰の山－

北陸の中天に麗しく聳える白山。

その名のごとく白い雪に覆われ、純白の雪をまとった優美な山容は、
白無垢の花嫁姿のように気高く美しい。



優美な火山景観



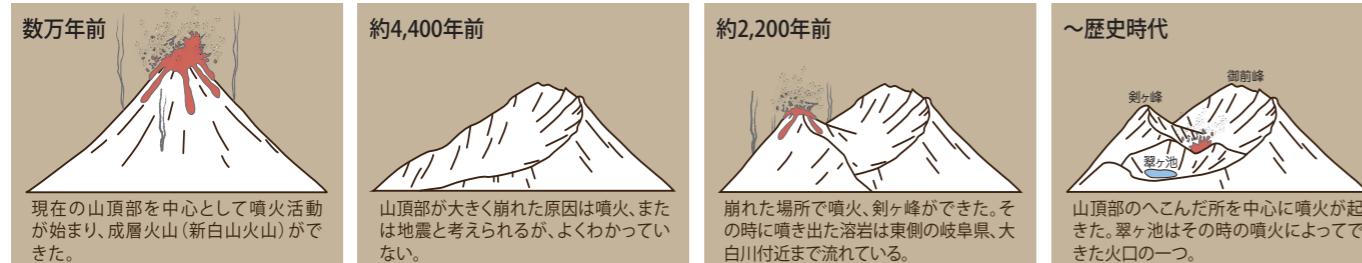
大汝峰山頂から見た御前峰方向の景観

白山は、最高峰の御前峰（2,702m）、大汝峰（2,684m）、剣ヶ峰（2,677m）の三主峰と周辺の山々からなる連峰である。ハイマツと高山植物に覆われた山頂付近は、紺青の水をたたえる火口湖や雪渓、巨石の景観からなる、天然の庭園である。

白山の火山活動

現在の山頂で活動を開始したのが今から3、4万年前で、何度も噴火により今の山の形が形成された。記録によると、1659年に噴火してから350年以上が経過しているが、将来噴火を再開する可能性がある活火山である。

御前峰と剣ヶ峰のでき方



「白山自然ガイドマニュアル（石川県白山自然保護センター資料、2000）」の一部を改変



御前峰から見た大汝峰と剣ヶ峰の景観

岩間の噴泉塔群

噴泉塔とは、地下で石灰分を溶かした高温の温泉が岩の割れ目から噴き出し、石灰分が少しづつ付着し、大きくなつたものである。湧出する温泉から出る石灰華が塔状に固まる現象は全国的に珍しく、1956年に国の特別天然記念物に指定された。塔は年に数十cm成長するものもあり、発達したものは複数の噴出口から2~4mの高さに湯煙を立てながら、勢いよく温泉水を吹き上げる。

(岩間温泉方面へと続く道路は崩落箇所があるため、当面の間通行止め（平成31年2月時点。）

山頂付近の火口湖めぐり

麓から見る優美な白山の姿とは異なり、山頂部を歩くと火山活動によって形成された荒々しい地形が見られる。過去の噴火により噴出した巨石が周辺に点在し、翠ヶ池のほか、紺屋ヶ池、油ヶ池、血の池などの池は、かつての火口に水がたまつたものである。その湖の一つに、白山で唯一の万年雪に覆われた千蛇ヶ池がある。



中ノ川上流の渓谷にある噴泉塔（平成23年10月現在）

火山が作り出す風景

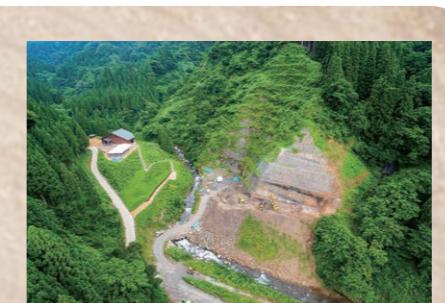
登山道の砂防新道から柳谷の対岸斜面の岩壁を望むと、岩に変則的な割れ目ができ、多角形の柱が連続して立っているように見える。柱状節理と言われ、溶岩が固まり、冷えて収縮する際、垂直方向に割れ目ができる、いくつもの柱が束になったような形になる。



Column

ジオパーク

白山の地形・地質の見どころは火山景観にとどまらない。白山国立公園周辺では、白山手取川ジオパークと恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークの2つの日本ジオパークが認定されている。白山周辺に分布する地層から産出する恐竜化石や、白山の豊富な水がつくり出す峡谷や滝などの美しい景観など魅力を紹介するジオパークも楽しみたい。



恐竜化石の発掘現場



百万貫の岩

Column



千蛇ヶ池の万年雪調査

ヒマラヤ山脈などの氷河が縮小傾向にあり、地球温暖化の影響ではないかと取り上げられることがある。白山では、千蛇ヶ池の万年雪の大きさを測る調査が1981年以来、継続して行われている。1998年には湖化したことがあり、このまま地球温暖化が進むと、白山の万年雪が消えてしまうかもしれない。

花の白山



観光新道のお花畠

色とりどりの高山植物

夏山時期の7月から8月の間に一斉に咲き誇る高山植物のお花畠はすばらしい。標高や地形、雪どけの違いにより様々な環境ができ、250種類もの高山植物が生育する。特にクロユリやハクサンコザクラが多い。白山の植物には、ハクサンフウロやハクサンイチゲなど、「ハクサン」と名の付く植物や、ゴゼンタチバナなど白山（御前峰）にちなんだ植物がおよそ20種類あり、山にちなんで名付けられた植物の数は日本一といわれる。



西限に生きる植物

白山は本格的な高山帯を有する山としては、日本で最も西にあり、クロユリ、アオノツガザクラなど100種を超える高山植物の分布の西限となっている。山頂付近の登山道では、夏の短い間に可憐に咲く花々など、短い夏を懸命に生きる姿を見ることがある。

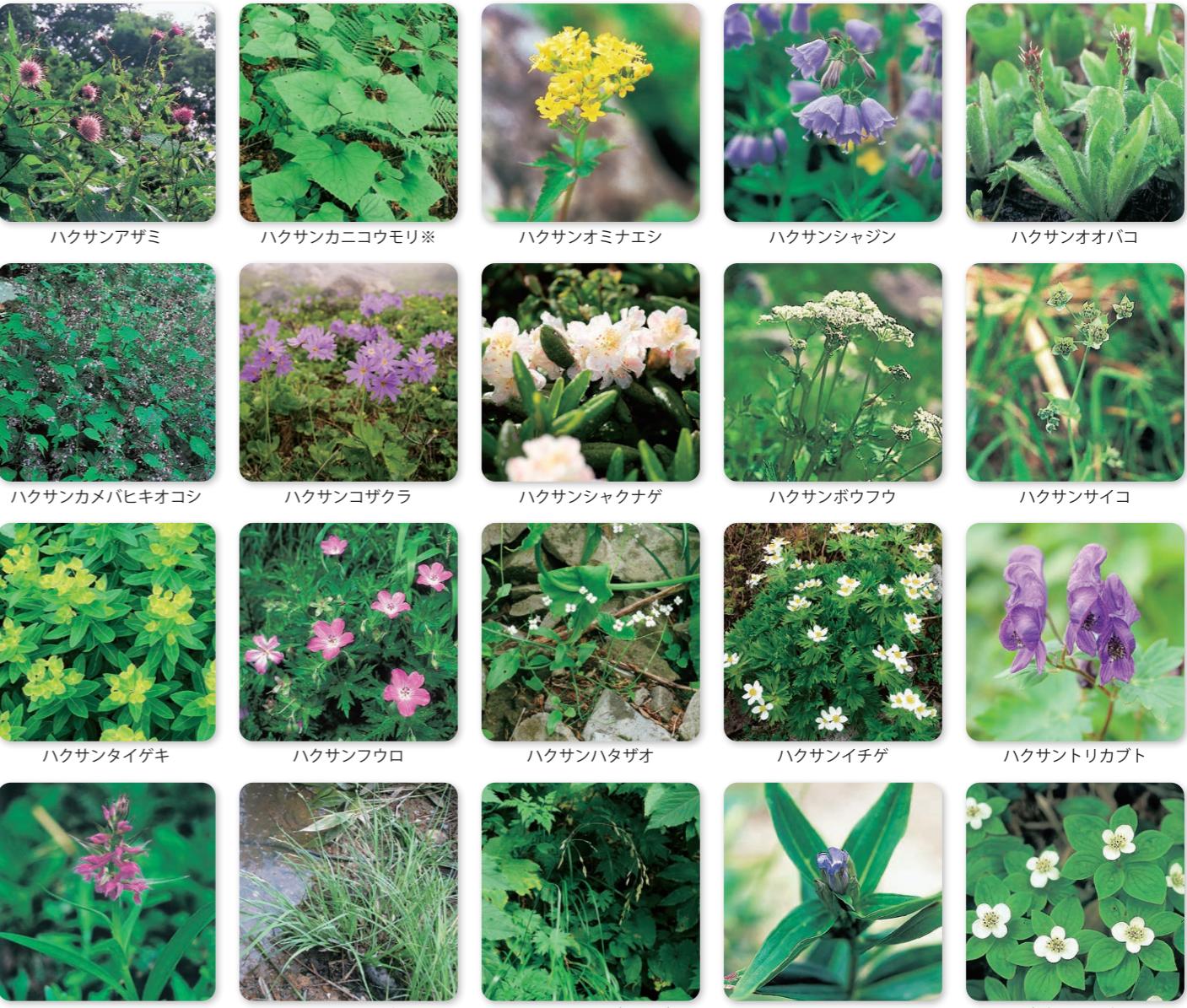
もうどう 室堂のハイマツ

高山帯を代表するハイマツや、亜高山帯針葉樹林を代表するオオシラビソも、白山より西には分布していない。

花の名前	6月	7月	8月	9月
クロユリ			■■■	
コバイケイソウ		■■■		
ハクサンコザクラ		■■		
ハクサンシャクナゲ		■■		
ハクサンフウロ		■■■	■■■	
ハクサンイチゲ		■■		
ハクサントリカブト				■■■
ハクサンチドリ	■			

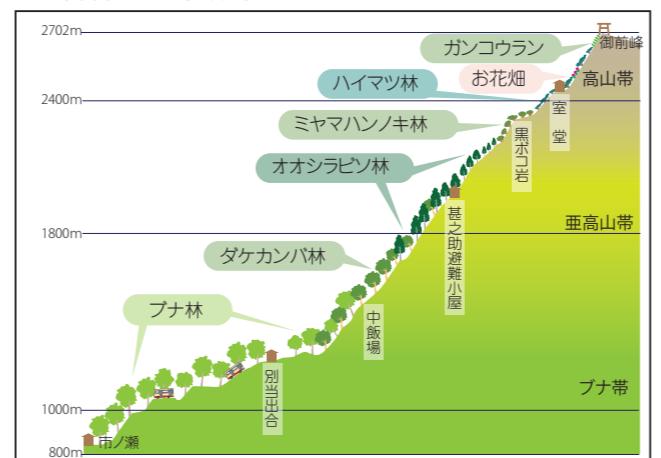
主な高山植物の開花時期

白山にちなんだ植物



※オオカニコウモリとオオバコウモリとの雑種（間種）とされる。
写真はオオカニコウモリ。

砂防新道の垂直分布



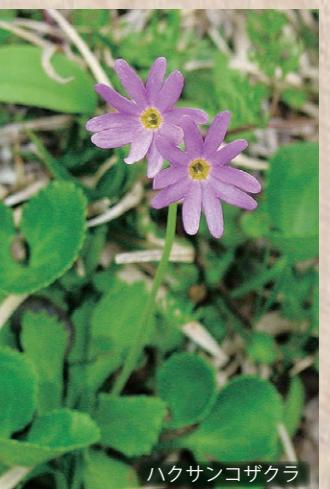
高さで変わる植物の分布

山を登るに従い、ブナ、ダケカンバ、オオシラビソ、ハイマツへと、まわりの植生が変わっていく。標高や地形の変化によって環境が変わり、その環境に適した様々な植物や動物が命を育むことができる。

Column

白山の高山植物の重要性

白山のハクサンコザクラやヨツバシオガマは、北アルプスにある白馬岳や他の山とは遺伝的に異なることがわかつていて。独立峰である白山の高山植物は、自然が長い時間をかけて積み重ねてきたここだけにしかないものである。仮に絶滅した場合、他の山から移植しても白山の植物を復元したことにはならない。



ブナ原生林と野生動物



チブリ尾根の新緑のブナ林

白山では、ツキノワグマ、ニホンカモシカなどの大型哺乳類や、イヌワシ、クマタカなどの希少猛禽類などの野生動物がよく見られる。その理由のひとつは、山麓にブナを中心とする広大な広葉樹林が広がっていることがある。ブナ、ミズナラ、トチノキ、カエデ類からなる広葉樹林は、多様な環境（住みか）を作り、大型哺乳類だけでなく、ニホンザル、ヤマネ、モモンガ、テン、ニホンリスなどの中小型哺乳類も多く生息している。

豊かな森の象徴 ツキノワグマ

広い行動圏を持ち、豊かな自然の象徴とされるツキノワグマ。食性は果実や種子、花や葉など主に植物に依存し、蜂（蜜）やアリなどの動物質のものも食べる。秋になると、ミズナラ、クリ、オニグルミなど実のなる木に、大きな鳥の巣のような「クマ棚」の跡が見られる。ツキノワグマに食べられた果実の一部は糞に混じって種子が森に散布され、芽を出し育つ。



世界の北限で生きるニホンザル

世界的には、多くのサルの仲間は亜熱帯地域に生息する。多雪地で生活するのは非常に珍しく、青森県下北半島には世界北限のニホンザルが住む。石川県白山市中宮地区の中宮温泉ビジャーセンター・中宮展示館裏手の蛇谷自然観察路では、比較的よくニホンザルを見ることができ、生態調査が行われている。主に木の芽や葉、種子、果実などの植物を食べているのが観察されている。

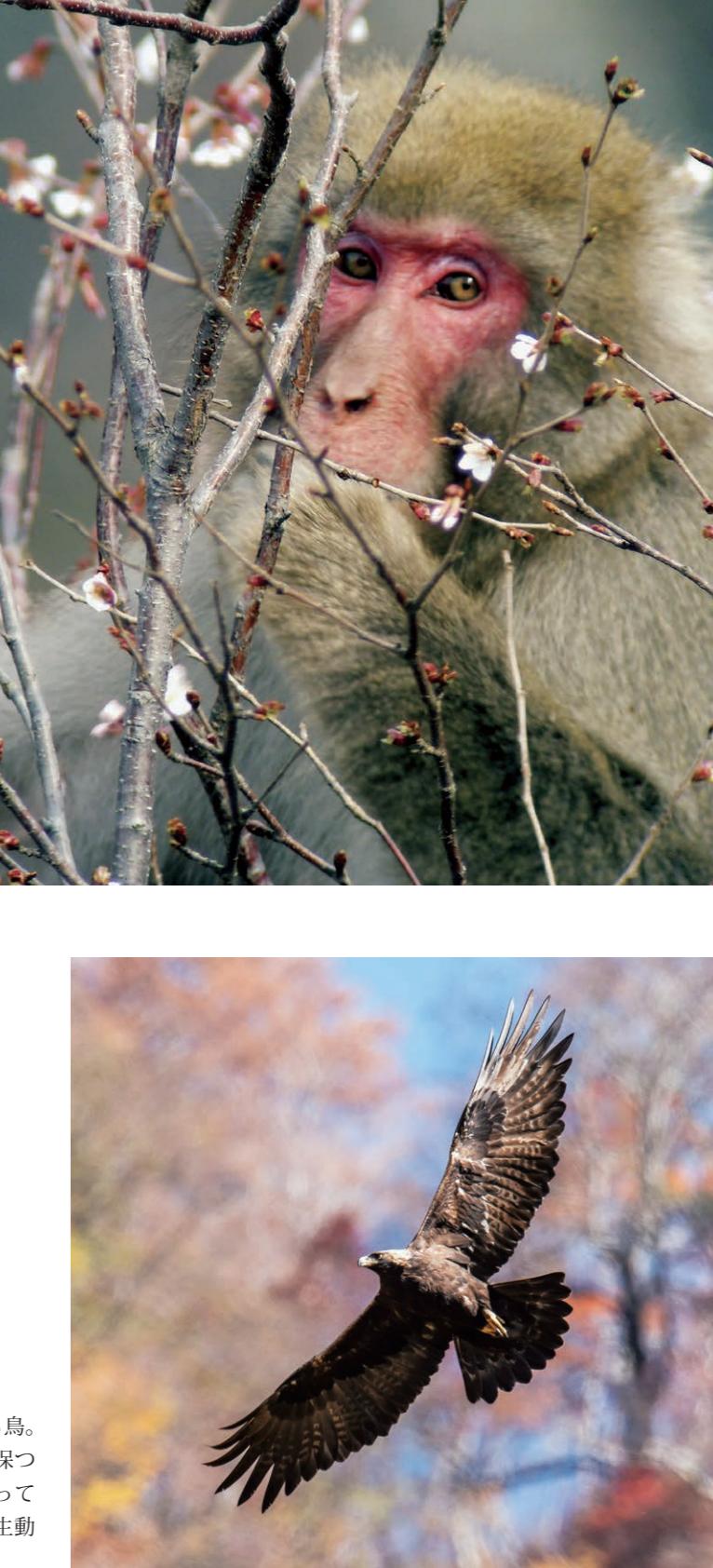
幻の動物 ニホンカモシカ

日本の固有種で国指定特別天然記念物。昭和30年代には絶滅に瀕し、奥地でしか見ることのできない「幻の動物」と呼ばれていたが、手厚い保護がなされ、現在では数が増えて分布を広げている。ヒメアオキやハイイヌガヤなどの木の葉、アザミやフキの葉などを食べる。



森の王者 イヌワシ

豊かな自然が残っている場所でのみ生息することができる鳥。ブナ林の食物連鎖の頂点に位置し、生態系のバランスを保つ重要な役割を担っている。数が減少し絶滅の恐れが高まっており、国の天然記念物、種の保存法に基づく国内希少野生動植物種に指定されている。



Column

野生生物との共存に向けて

野生生物や白山の豊かな自然を将来にわたって残していくためには、その現状を詳しく知る必要がある。白山では、石川県白山自然保護センターを中心に哺乳類や鳥類の行動や植生の調査、気候変動や地形地質など、分野毎に様々な調査がなされている。その成果は研究報告書等にまとめられているほか、HPでも広く公開され、自然解説の資料、国立公園の管理や希少種の保全、鳥獣の保護管理計画などに生かされている。



ニホンザルのテレメトリー調査

「神宿る山」白山信仰

白山の開山、白山信仰の広がり

白山は、越前の僧「泰澄大師」が717年に開いたと伝えられ、わが国でも最も早く開かれた山の一つである。白山は独立峰で周りに高い山がないため、北陸、東海、近畿から仰ぎ見ることができ、古来から都の人々に知られてきた。現在、北は青森県、南は鹿児島県に至るまで、全国で白山神社は三千社余りある。白山神社のご神体は「白山」そのものである。



室堂 平の白山比咩神社祈願殿



白山比咩神社奥宮の日供祭

白山の伝説（泰澄大師と3,000匹の蛇）

泰澄大師が初めて白山に登った時、山の上には3,000匹の大蛇が住んでいた。大蛇は暴れ回り、山麓の人々が大変困っていたため、大師は法力を持って白山の山頂に大蛇を集め、3ヶ所に封じたと言われている。



蛇塚（観光新道）

白山の山頂に集めた大蛇のうち、特に凶悪な1,000匹を切って地面に埋め、その上に塚を築いたと言われている。



千蛇ヶ池と御宝庫（お池巡りコース）

次の1,000匹の大蛇を、御前峰の麓にある万年雪をたたえる千蛇ヶ池に封じ、出てこられないようにした。もし蓋をした雪が溶けてしまった時は、池の真上にある大岩「御宝庫」が崩れ落ち、蓋をするとされている。



刈込池と剣ヶ岩（上小池刈込池自然研究路）

残る1,000匹の大蛇は刈込池に封じ込め、剣の影が池に映るよう剣ヶ岩の上に大剣を突き立てた。大蛇は黒金（鉄）に触ると身が腐ってしまうため、池に映る剣の影を恐れて出られないようにしたと言われている。

三馬場と三禅定道

832年に、越前、加賀、美濃の三方の馬場（登拝の拠点）から山頂へ登拝道が開かれたと言われている。白山の山頂は、修業の致達点である「禅頂・禅定」と考えられ、そこに至る道は「禅定道」と呼ばれた。越前の平泉寺白山神社、加賀の白山比咩神社、美濃の長瀧白山神社を「三馬場」といい、三馬場を出発地点として、それぞれ白山の山頂へと続く越前禅定道、加賀禅定道、美濃禅定道が開かれ、「三禅定道」と呼ばれるようになった。

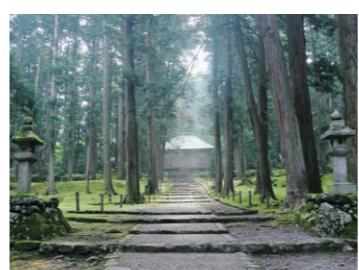
現在も各所に修行のための行場や宿泊所を兼ねた室跡などの旧跡が残っている。



白山比咩神社
(加賀馬場)



長瀧白山神社・白山長滝寺
(美濃馬場)



平泉寺白山神社
(越前馬場)

Column

白山の下山仏

明治維新の神仏分離令により、白山山頂や禅定道の所々に安置されていた仏像は山から下ろされ、石仏などは破壊された。下山仏は現在、白山麓の3ヶ所にあり、御前峰、大汝峰、別山などの社殿にあった仏像は石川県白山市白峰の林西寺（白山本地堂）に、加賀禅定道の檜新宮などにあった仏像は白山市尾添の白山神社に、美濃禅定道沿いの仏像は岐阜県郡上市白鳥町右徹白の大師堂にそれぞれ安置されている。



林西寺に安置される白山三峰の本地仏



水が造り出す風景

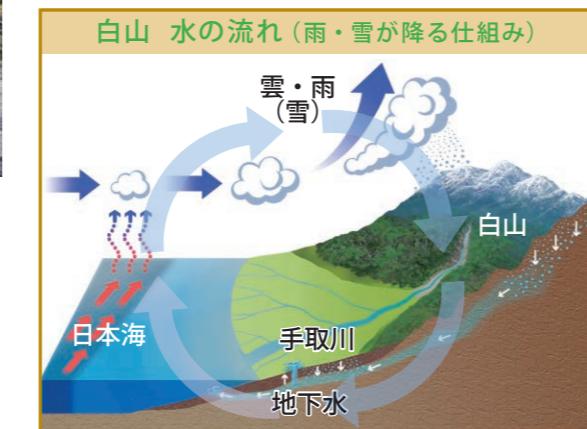


人々の暮らしを支えてきた命の山

白山は、雪に覆われた姿から「越の白嶺」と呼ばれ、やがて「しらやま」となり今の「はくさん」になったとされる。

白山の雪は、大陸からの風が日本海を通る際に暖かい対馬暖流の水蒸気を含み、白山を登るうちに冷やされることで生まれる。

雪解け水は、沢や渓流となって滝を流れ、やがて手取川、九頭竜川、長良川、庄川の4本の大きな川となり、山麓の平野を潤している。この清澄な水が生き物のいのちを育み、私達の日々の生活水となり、稻作をはじめとする田畠を潤している。その源流に対する感謝と畏敬の念から、白山への信仰が始まった。



雪が生物に与える影響

一年の約半分の時期を覆う白山の雪は、そこに生きる動植物に強い影響を与えている。

高山帯の植物は、雪や地形の影響を受け、限られた植物が住み分けるように生育し、鳥などの動物はその自然環境でそれぞれ住みかや餌を分け合っている。渡りをして冬をやり過ごす鳥や、活動をやめて冬眠するツキノワグマやヤマネ、冬毛に変わり雪の白さを保護色に利用するノウサギやオコジョなど、種類によって様々な方法で雪に適応している。



① 雪崩が発生する急斜面などで見られる「高茎草原」



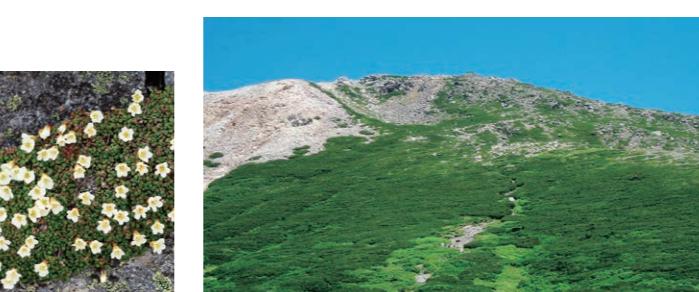
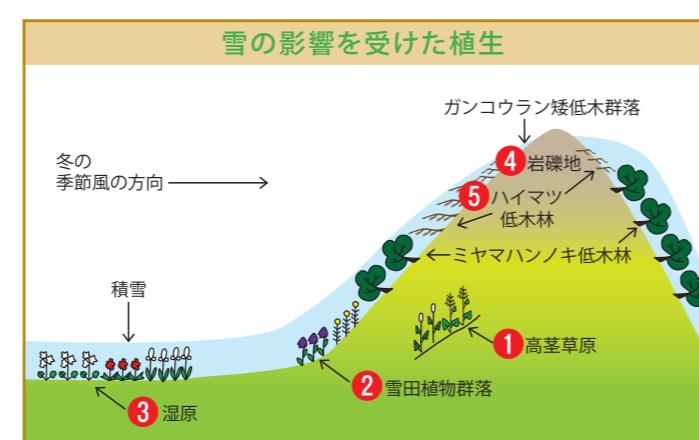
② 室堂平のような雪が遅くまで残る場所で見られる「雪田植物群落」



③ 南竜ヶ馬場のような雪解け水がたまる平地で見られる「湿原」の植生



④ 風で雪が吹き飛ばされる「岩礫地」では、岩かけやわずかな岩の隙間に生育する



⑤ 冬に季節風が吹きつけ、積雪は多いが雪解けが早い場所で見られる「ハイマツ低木林」

豊富な水がもたらす白山の滝

白山を特徴づけるもののひとつに滝があり、峡谷の素晴らしさに花を添えている。

石川県白山市には、白山白川郷ホワイトロードの途中にあるふくべの大滝や姫ヶ滝、加賀禅定道から見える百四丈の滝、岐阜県には、大白川の白水の滝や郡上市の阿弥陀ヶ滝、福井県には、勝山市の弁ヶ滝など、白山麓の各地に名所となる滝がある。



ふくべの大滝

落差86mの大滝。滝の上方にもう1つ滝があり、2段の滝を瓢箪に見立ててふくべと名がついた。



百四丈の滝

清淨ヶ原下部の標高約1,800m付近から落下している落差約90mの直瀑の滝。1987年に加賀禅定道が復元されるまでは、一般登山者の目に触れることがない「幻の滝」とされていた。



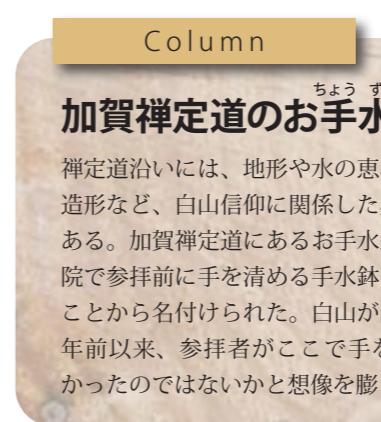
阿弥陀ヶ滝

古くは白山信仰の靈場として賑わい、日本の滝100選にも選ばれている落差60mの滝。朝日を背にして滝の前に立つと、水煙の中に人の形が阿弥陀様になったように映る。



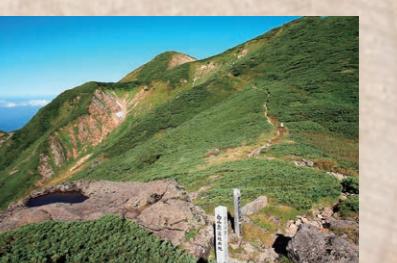
弁ヶ滝

平泉寺隆盛の頃、訳あって滝に身を投げた和光という容美麗な稚児と相思相愛の仲にあり、後を追って身を投げた弁の君に由来する滝。落差40m。



加賀禅定道のお手水鉢

禅定道沿いには、地形や水の恵みから生まれた造形など、白山信仰に関係した興味深い名所がある。加賀禅定道にあるお手水鉢は、神社や寺院で参拝前に手を清める手水鉢のように見えることから名付けられた。白山が開山された一千年前以来、参拝者がここで手を清め山頂に向かったのではないかと想像を膨らませる。





信仰の山 白山のご来光（お日の出）

夏山の晴れた日は、ご来光の約1時間前に白山比咩神社祈禱殿にて太鼓が打ち鳴らされる。祈禱殿の右横から御前峰山頂へ向かう石畳があり、距離約1km、約40分の急坂を登る。山頂にてご来光を待つ間、神職から白山の信仰、歴史、山頂の景観などについての説明を聞くことができる。白山のご来光は、雲海のかなたの北アルプスの影から同じ高さで光が射す。



ご来光登山



秋の室堂

山頂エリア

白山の核心部にあたり、室堂を拠点にご来光登山やお池めぐり散策のほか、北部や他県への縦走登山など、様々なルートを選択できる。

高山の庭園 お池めぐりコース

山頂の御前峰を含む高山帯を一周する道。点在する大小の火口湖に野鳥のさえずりが澄み渡り、残雪や高山植物が彩りを添える。コース沿いの雄大な眺望や雲海などの景色も素晴らしい。



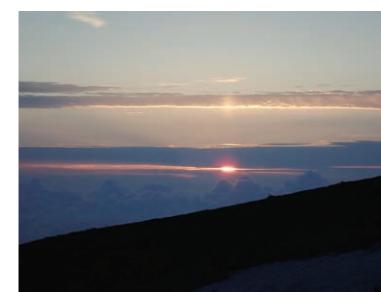
① 室堂から御前峰への石畳。左手には千蛇ヶ池へのショートカットコースがある。



② 御前峰山頂の景色。この先の細い尾根を進むと御宝庫へ至り、紺屋ヶ池や油ヶ池へ至る急坂を下る。



⑤ 沢沿いに下るお池めぐりの道。ハクサンシャクナゲやクロユリなどを見ながら、御前峰下部を巻いて室堂へ戻る。



⑥ 室堂周辺の展望台からは、天気の良い日は雲海に沈む夕日を見ることができる。



③ 泰澄大師が十一面觀音を拝したとされる翠ヶ池



④ 千蛇ヶ池の脇を渡る室堂への近道。付近の高山植物が彩りを添える。

原生的な自然環境が残る北部登山道

室堂より北には、10km以上、長いものでは20kmを超える長大な北部登山道が続く。加賀禅定道、樂々新道、岩間道、中宮道、北縦走路の5路線あり、迫力ある火山景観や点在する湿原、一面の高山植物群落、成熟したブナ原生林、白山信仰の面影を残す史跡など、数多くの魅力を持つ。どのルートも避難小屋が整備されているが、健脚コースのため十分な装備と安全対策が必要となる。



加賀禅定道のニッコウキスゲ大群落

石川エリア

市ノ瀬と中宮、二つの利用拠点がある。
お花畠や眺望、史跡、樹林などそれぞれ特色ある13の登山道を持つ。

いちのせ 市ノ瀬：白山登山と自然散策的一大拠点

別当出合からの白山登山の拠点として有名で、周辺には沢沿いの散策路や白山を遠望できる展望台がある。また、ブナ林の紅葉で人気の日帰り登山コースの起点でもあり、様々な利用が楽しめる。

- ① 市ノ瀬園地：沢沿いに木道があり、沢のせせらぎを聞きながら、渓畔林の中を散策できる。1周約30分。



- ② 岩屋保谷園地：中腹と遊歩道終点に2つの展望台があり、白山を一望できる。
白山展望台まで：1周約1時間。
パノラマ展望台まで：1周約3時間。



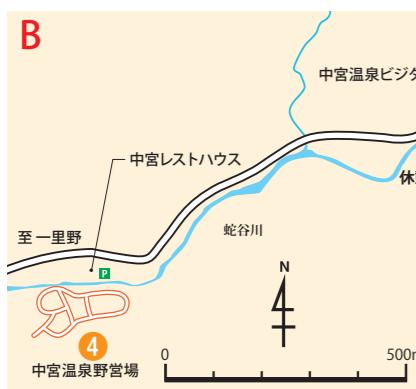
- ③ ブナ平の分岐の付近はブナ林が広がり、秋の紅葉が見所。



- ④ 根倉谷園地：早春には湿地にミズバショウが一斉に花を咲かせる。炭焼釜跡やクリ林など、昔に山で生活していた跡を見ることができる。
1周約30~40分。



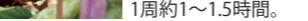
中宮：渓谷と沢、温泉の名勝地



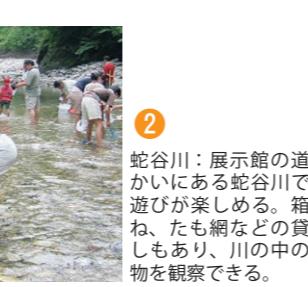
白山白川郷ホワイトロードの入口にあり、散策、川遊び、登山、温泉、キャンプなど、多彩な自然体験を楽しめる。



- ① 蛇谷自然観察路：野外の自然観察のため展示館裏手の山麓に設けられている。4月中旬から5月上旬頃、カタクリの大群落がいっせいに薄紫色の可憐な花を咲かせる。
1周約1~1.5時間。



- ② 蛇谷川：展示館の道路向かいにある蛇谷川では川遊びが楽しめる。箱舟がね、たも網などの貸し出しもあり、川の中の生き物を観察できる。



- ③ 中宮温泉野営場：中宮レストハウスの橋を渡ったところにある。散策路も整い、湿地ではザゼンソウの開花、水辺ではサワガニの観察などができる。1周約40分。



- ④ 中宮温泉野営場：温泉街には薬師の湯などの足湯が2つあり、立ち寄って休憩できる。

白山登山の定番 砂防新道～室堂～観光新道(別当出合登山口)

別当出合登山口を起点にした白山山頂への最短ルートで、休憩所や水場が随所にある砂防新道、尾根沿いで展望が良くお花畠が広がる観光新道の人気が高い。



- ① 別当出合登山口。吊橋を渡り、ブナなどの林の中を登る。



- ② 水場・トイレがある中飯場休憩舎。ここから不動滝を右手に眺めながら登ると、別当観に至り、観光新道の稜線が見渡せる。



- ③ 右手に別山を望むようになると休憩拠点の「甚之助避難小屋」に着く。小屋から上は高山植物が多く見られるようになる。



- ⑦ 馬のたてがみの急尾根は白山で有数のお花畠であり、花の種類も多く色彩豊か。



- ⑧ 池のほとりに殿ヶ池避難小屋が立つ。眼下にこれから歩く稜線を見渡せる。



- ⑤ 十二曲がりを登ると、砂防新道・観光新道が合流する黒ボコ岩へ着く。南竜分岐から十二曲がりにかけては、最も花が綺麗なところである。

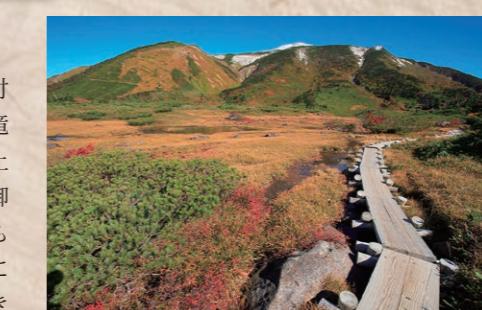


- ⑥ 弥陀ヶ原では正面に白山の主峰、御前峰が横たわる。五葉坂を登れば室堂である。

Column

南竜ヶ馬場の魅力

南竜山荘の眼前に清流が流れ、付近には山上の庭園を思わせる南竜湿地があり、せせらぎの中で山上の別天地を散策できる。室堂・御前峰方面へ3コース、別山方面へもコースがあり、南竜ヶ馬場を基点に多様な登山形態をとることができ。山頂部唯一のキャンプ場と家族向けの個室ケビンがあり、多様な利用ニーズに応えることができる。



岐阜エリア

麓に雄大な散策路や有人のロッジを持つ大白川、美濃禅定道や手付かずの自然が残る美濃禅定道を持つ石徹白、それぞれ山頂へ至る特徴ある登山道を持つ。

豊かな自然景観と眺望 平瀬道(大白川地区)

白川郷の南から大白川沿いの県道を約15km西へ入った、豊かな自然が残る地域。白山山頂への登山だけでなく、ブナの森と湖、温泉、キャンプなどを大自然の中で楽しめる。



① 平瀬登山口。成熟したブナ林の中を通り、ジグザグを切りながら高度を上げる。



② 尾根上に出ると眺望が開け、眼下に白水湖や、梢越しに御前峰や剣ヶ峰が望める。



③ 室堂までの間にある大倉山避難小屋。小屋手前あたりから展望がひらけ、別山から連なる長い尾根や北アルプス連峰を望むことができる。



④ 尾根沿いをカムクラ雪渓に沿って登る。登るにつれてオタカラコウやニッコウキスゲ、ハクサンフウロなどの花が多く見られるようになる。



⑤ 白山からの雪解け水をたたえる白水湖。独特のエメラルド色の湖面が広がり、神秘的な雰囲気がある。

大白川園地・野営場



⑧ 散策路の奥では、木道の上から湿原を観察できる



① 湿原



② 湿原



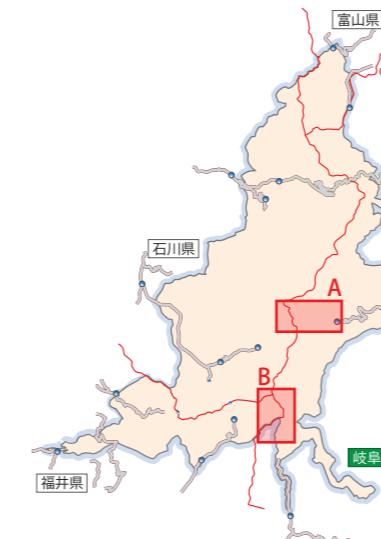
⑦ 山頂を望める白山展望台。付近では、沢のせせらぎを聞きながら散策を楽しめる。



⑥ 大白川園地の中には散策路が整備され、見事なブナ原生林の森が広がっている。

一千年つづく信仰の道 美濃禅定道(石徹白地区)

かつて「上り千人、下り千人」と言われた美濃禅定道。往時のままの道が現在も残り、伝説を秘めた地名や史跡を辿ることができる。



① 駐車場やトイレが整備された登山口。急な石段を10分程登る。



② 石段を登った先の開けた場所に国の特別天然記念物石徹白大杉がある。樹齢1,800余年。白山を開いた泰澄大師が使用していた杖がこの大杉になつたと言われている。



③ 道中、泰澄大師やその母にまつわる伝説を示す「おたけい坂」や「雨やどりの岩屋」「母御石」などを通る。

Column

みちかり 白山道刈

石徹白では美濃禅定道の「白山道刈」の伝統を1,000年以上もの間、石徹白の人々の力によって受け継いできた。現在は「石徹白清掃ボランティア」として一般参加できる形へと変え、毎年7月下旬に禅定道への登山や環境保全活動に参加する機会を作っている。



福井エリア

山上からの眺望、史跡や湿原、池の探勝など多くの魅力を持つ。日帰りから縦走登山まで、様々なコースからニーズに応じた多様な利用を楽しめる。

伝説の池めぐりと白山の絶景 上小池刈込池自然研究路・三ノ峰登山コース（小池地区）

打波川に沿った県道を北上した箇所にあり、刈込池周辺のブナ自然林から、福井県最高地点近くの三ノ峰付近の高山植物まで豊かな自然が残され、多くの生き物のすみかとなっている。

上小池刈込池自然研究路



① 散策路入口には駐車場とトイレがある。



② 入口から5分程歩くと分岐点に出る。直進して刈込池へ行く吊橋を渡り、階段を登る。



③ 池のそばにある休憩広場。ブナやミズナラの原生林が広がり、池周辺の散策路には動植物や自然の仕組みを紹介した看板がある。



アカゲラ



三ノ峰登山コース



⑤ 急勾配の登山道を登り、尾根道の六本檜へ着く。



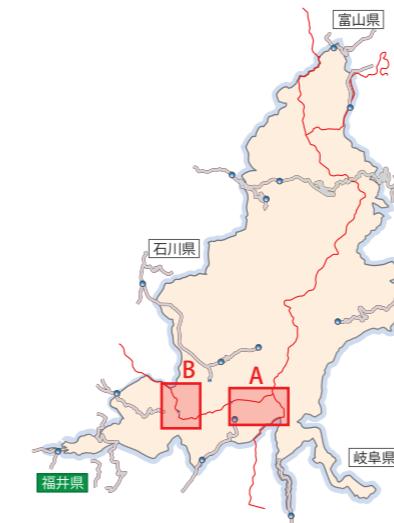
⑥ 剣ヶ岩を右手に三ノ峰、願教寺山の展望を眺めながら尾根沿いの急坂を登る。次第に樹高が低くなり、森林限界を超えて高山植物が見られる。



⑦ 稲線沿いに立つ三ノ峰避難小屋。小屋から10分ほどで三ノ峰山頂に立つことができ、別山や白山の山体を間近に見ることができる。

信仰、眺望、湿原－多彩な魅力－赤兎山・大長山登山コース（小原地区）

赤兎山や大長山の山々から流れ出る滝波川の谷あいにあり、白山修験者が歩いた越前禅定道が地区内を横断している。点在する中世の旧跡、展望のよい山頂、高層湿原など、様々な魅力を持つ。



① 小原集落を経て10kmほど進むと林道終点に至る。終点近くの登山口から登る。昔の越前禅定道にあたる。



② 小原峰からは左の大長山と右の赤兎山、中央の石川県白峰の三ツ谷に至る道の3方向に登山道が分かれる。



③ 赤兎山へはブナ林の急坂を登り、樹木の丈が低くなると頂上に着く。展望が良く、白山を真正面に望む雄大な展望を楽しめる。



④ 山頂から20分ほど尾根伝いに下ると避難小屋がある赤兎平に至り、周辺の赤池湿原は7月上旬にニッコウキスゲなどの花に彩られる。先の登山道は三ノ峰を経て別山、白山へと至る縦走路。



⑥ 小原峰から中央の道は、涼やかな渓流のせせらぎを聞きながら沢沿いの自然豊かな登山道を下り、石川県側の三ツ谷に至る。



⑤ 剣安山を経て尾根伝いに進み、大長山に着く。山頂は南北に長く、白山山系をはじめ360度景色が見渡せる。夏季には付近にニッコウキスゲやササユリが咲いて美しい。

富山エリア

桂とブナオ峠の2つの登山口がある。美しいダム湖が広がる桂湖周辺には多目的広場やオートキャンプ場が整備され、その奥に大笠山へ至る登山口がある。登山道は距離が長大でアップダウンが多く、健脚者向けコースである。

本格登山への誘い

白山国立公園の北端部にあたり、キャンプやカヌーが楽しめる桂湖周辺、本格的な大笠山登山、1,500m級の山が続くブナオ峠からの登山と、様々な利用方法を選ぶことができる。



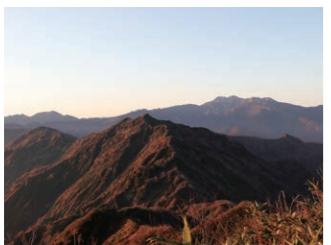
⑥ 名の通り一帯にブナの巨木が広がるブナオ峠。



⑦ 林を過ぎると大門山への分岐に着く。大門山山頂へは分岐から20分程。



⑧ 分岐から稜線沿いに40分ほど歩くと赤摩木古山に着き、白山や大笠山などの展望を満喫できる。その先は見越山、奈良岳を経て大笠山まで続く縦走路。



⑤ 大笠山山頂。展望がよく、南面に笈ヶ岳や、白山に連なる山々が見える。

おおがさやま 大笠山登山コース(桂地区)・奈良岳登山コース(ブナオ峠登山口)



④ 稜線沿いの起伏のある登山道を辿って高度を上げ、1,522mの前笈ヶ岳(天ノ又)に出ると正面に大笠山が現れる。



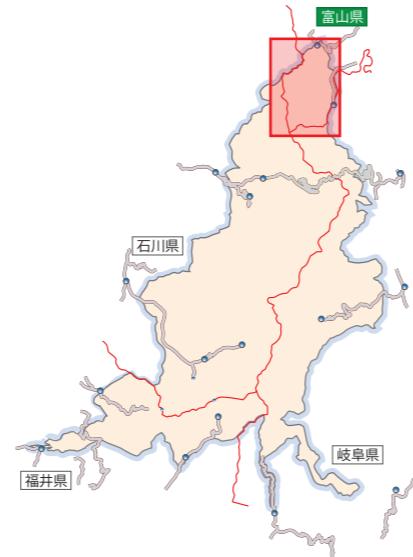
① ビジターセンターではカヌーを貸し出している。



② 周辺は芝生広場があり、ロッジやオートキャンプ場が整備されている。



③ 登山口の少し先の鉄製の吊り橋を渡ると、急な岩壁に鉄梯子、鎖場がある。



自然保護の取組

ごみ持ち帰り運動

かつてゴミがあふれ、お花畠までゴミが散乱する山だったが、1973年よりゴミの持ち帰り袋を配布し、1976年より山小屋や休憩舎のゴミ箱を撤去した。また、1974年から関係者による美化清掃などの取組が行われた。現在、白山は全国で有数の美しい山として知られている。



ゴミが散乱するかつての白山

外来植物対策

白山の山頂付近に、本来なら低地にしか生育しないオオバコなどの外来植物が見られ、高山植物の住みかを奪ったり、高山植物との競争ができる問題が起こっている。白山の生態系を守るために、外来植物の除去作業や登山口への種子除去マットの設置が行われている。



ボランティアによる外来植物の除去作業

登山道の整備

自然植生の荒廃や登山道の浸食を食い止め、安全で快適に登山ができるように、木道などの設置による登山道の明確化や深く浸食された場所の埋め戻しなどの整備がなされている。



砂防新道の木道

国立公園のマナー

厳しい環境に耐え抜いてきた白山国立公園の自然は、美しくも壊れやすい。すばらしい自然を後世に引き継ぐため、訪れる際は自然を傷つけることのないようルールとマナーを守りましょう。



ゴミは捨てずに持ち帰る



採集はしない。
自然はそのままに



動物は持ち込まない



道から外れないで



キャンプ、焚き火は
決められた場所で



野生動物に餌を与えないで

山上の自然解説員

山上の室堂平や南竜ヶ馬場では、7月中旬から8月中旬まで石川県自然解説員が駐在している。屋外での自然解説や施設内で夜間に行われるスライド解説などに参加できる。山麓の市ノ瀬ビザーセンターや白山白川郷ホワイトロード付近にある中宮展示館では、週末に白山自然ガイドボランティアが周辺の自然解説を行っている。



お池めぐりコースの自然解説

車で楽しむ

絶景スカイライン 白山白川郷ホワイトロード



開通時期：6月上旬～11月10日、通行時間：7:00～18:00（6～8月）、8:00～17:00（9～11月）、料金（普通車）：片道1,700円、往復2,600円

石川県白山市と岐阜県白川村を結ぶ全長33.3kmの山岳有料道路として1977年に開通した。ブナの原生林をはじめとする豊かな自然、蛇谷の渓谷美と流れ落ちる大小の多彩な滝、雄大な白山眺望などが訪れる人々の目を楽しませる。紅葉は白山随一の美しさを誇り、徐々に標高を下げながら1ヶ月以上の間楽しむことができる。駐車場からの散策ルートやトレッキングルートも整備され、夏の時期は様々な高山植物の花を楽しめる。

姥ヶ滝と親谷の湯（標高約800m）

平成2年に「日本の滝100選」に選ばれた姥ヶ滝。老仙人が白髪をといていたという伝説があり、岩肌に沿って落ちる流れを白髪に見立てて名が付いた。川底から出る温泉を利用した親谷の湯が正面にある。蛇谷園地駐車場から遊歩道を通り、片道20分ほど。



国見展望台 (標高1,100m)

石川県側から林道を通って初めて白山が見える場所。ヘアピンカーブに位置し、山腹を通る林道の背景に山や谷を望め、雄大な景色が楽しめる。



白山展望台 (標高1,350m)

谷向かいにブナの原生林が広がり、かなたに白山の主峰三山（御前峰、大汝峰、剣ヶ峰）の山頂と地獄谷がよく見える。



ふくべの大滝（標高900m）

林道開設の前は「幻の滝」と言われた蛇谷隨一の大滝。水は岩壁を水煙を上げて落し、しぶきが道路を覆うこともある。



梅の木台駐車場（標高1,400m）

白山展望台駐車場とともにホワイトロード内で白山が最もよく見える場所。周辺にはブナの原生林が広がり、遊歩道もある。



ふくべ谷上園地展望台 (標高1,570m)

梅の木台駐車場から林を抜けて25分ほど歩くと展望台があり、白山や三方岩岳などの山々を四方に楽しめる。ここから三方岩岳にも登ることができる。



白川郷展望台（標高1,200m）

合掌造り民家の白川郷と、その奥に飛騨の山々を遠望できる。周辺のブナ林には歩道が整備され、気軽な散策に最適。駐車場には蓮如茶屋があり、休憩や特産品を求めることがある。

Column

じゃだにはしつけい 蛇谷八景

蛇谷峡谷の美しさから名付けられ、霧がかかると水墨画のような山水美の風景が楽しめる。猿ヶ淨土（淨土山）と七つの滝（しりたか滝、赤石の滝（三味線滝）、岩底の滝、かもしか滝、姥ヶ滝、水法の滝（尉ヶ滝）、ふくべの大滝）を指す。



三方岩駐車場（標高1,450m）

ホワイトロードの最標高地点で、紅葉が最も早く色づく。駐車場から歩いて50分ほどで、日本三百名山の三方岩岳（標高1,736m）に登ることができる。秋口からは、晴天日の早朝に雲海が見られることがある。



白山の恵み 温泉のたのしみ

白山麓には、泉質や湯の色、湯ざわり、効能が異なる湯があちこちから噴き出し、自然豊かな風景を見ながら様々な温泉を楽しむことができる。

総湯や温泉センターなどの公共の浴場や、旅館などで日帰り入浴、足湯のほか、白山の大自然に囲まれた中での野趣あふれる露天風呂もある。

※掲載している情報は2019年2月のもの。道路の開通状況等により、利用できる時間など変動するため、詳しくはそれぞれのホームページや電話で要確認。



おおしらかわ 大白川露天風呂

川沿いの県道を通った一番奥、白水湖のほとりにある。湖畔に面した露天風呂で、白水湖を眺めながらの入浴は開放感にあふれる。

住 所：岐阜県大野郡白川村大字平瀬大白川
施 設：露天風呂
期 間：6月上旬～10月末頃
TEL：090-2770-2893（衛星電話・営業期間中のみ通話可能）
TEL：05769-6-1311（白川村商工観光係）
<http://www11.ocn.ne.jp/~tkr893/index.html>



はくさん 白山温泉(永井旅館)

白山登山基点の市ノ瀬にある一軒宿で、これより奥には人家はない。かつての越前禅定道の道筋にあり、江戸時代には近辺に湯小屋や休息所、薬師堂があった。木の香りがただよう浴場では、白濁した源泉がかけ流しで楽しめ、温度の異なる2つの源泉に別々に入れる。

住 所：〒920-2501 石川県白山市白峰ノ38番地
施 設：内湯・宿泊施設
期 間：4月下旬～11月上旬
TEL：076-259-2339
<http://www.hakusan-nagai.jp/nagairyokan/>



はとがゆ 鳩ヶ湯温泉

福井九頭竜川の支流、打波川の渓流沿いに建つ一軒宿。明治中期からの温泉宿で、山鳩が傷を癒すため水浴にやってきたことから名付けられた。建物正面からは白山連峰の三ノ峰、別山を望める。

住 所：〒912-0151 福井県大野市上打波6-2
施 設：内湯・宿泊施設
期 間：4月下旬～11月下旬
TEL：0779-65-6808
<http://www.hatogayu.jp/>



おやだに 親谷の湯

白山白川郷ホワイトロード内の蛇谷園地駐車場から20分ほど歩いた川沿いに露天の湯と足湯がある。日本の滝100選に選ばれる「姥ヶ滝」を目の前に眺めながら入浴できる。皮膚病によいとされ、かつては湯治のため飛騨から峠を越えて来たと言われている。

住 所：〒920-2324 石川県白山市中宮
(白山白川郷ホワイトロード内)
施 設：露天の湯、足湯（簡易脱衣所あり）
期 間：6月上旬～11月上旬（ホワイトロード開通期間）
TEL：076-274-9554（白山市施設管理課）



ちゅうぐう 中宮温泉

開湯約1300年の歴史ある温泉。白山開山の祖「泰澄大師」が傷ついた白鳩が谷川で憩う姿を見て温泉を発見した由来から、「鳩の湯」とも呼ばれる。古来から胃腸の湯と言われ、飲用を認められている。今もなお当時の面影を残し、2軒の旅館と1軒の食堂、2ヶ所の足湯がある。

住 所：〒920-2324 石川県白山市中宮温泉
施 設：内湯・露天風呂・足湯・宿泊施設
期 間：4月下旬～11月下旬
TEL：076-256-7219（にしやま旅館）
076-256-7955（くろゆり荘）
<http://www.chuguonsen.com/>



しんいわま 新岩間温泉(山崎旅館)と岩間温泉

岩間地区の山間にたたずむ、古くは泰澄大師の開湯伝説と結びつく歴史ある温泉地の一軒宿。旅館からゆるい上り坂が続く川沿いの林道を1時間程歩くと、岩間温泉の露天風呂（無料、照明施設なし、簡易脱衣所あり）がある。岩間の噴泉搭群はそこから登山道を下りた中ノ川の河原に点在している。

※岩間温泉方面へと続く道路は崩落箇所があるため、当面の間通行止め（2023年3月時点）。

住 所：〒920-2333 石川県白山市尾添ム4-1
施 設：露天風呂・内湯・宿泊施設
期 間：6月初旬～11月上旬
TEL：076-256-7950
<http://iwama-onsen.jp/>



ひらせ 平瀬温泉

岐阜県白川村。民宿、旅館が多くあり、日帰り入浴施設・足湯もあり。下山後の入浴にも最適。

いとしろとうげやま
石徹白峠山温泉

岐阜県郡上市。満天の湯本館はウイングヒルズ白鳥リゾートスキー場敷地内にあり、日帰り入浴が可能。

ビジターセンターとキャンプ場

国立公園に来たらまず、ビジターセンターに立ち寄ってみよう。地域の自然や歴史の展示、スタッフの案内解説などを通じて、公園を楽しむための最新の情報が手に入る。様々な自然体験イベントやプログラムも行われている。

※掲載している情報は2019年2月のもの。それぞれの開館時期や営業日は道路の開通状況等により変動するため、詳しくはそれぞれのホームページや電話で要確認。

白山室堂ビジターセンター／白山室堂／白山雷鳥荘

標高2,450mの室堂平にあり、山頂の御前峰に最も近い施設。宿泊施設である白山室堂を兼ね、食堂のほか、診療所、郵便局、売店などもあり、充実した設備が整っている。

開館日：5月1日～10月15日

TEL（予約専用電話）：076-273-1001（9:00～17:00）

<http://www.kagahakusan.jp>



南竜ヶ馬場ビジターセンター（南竜セントラルロッジ）／南竜山荘／南竜ヶ馬場野営場

御前峰と別山の鞍部にあたる標高約2,100mの南竜ヶ馬場にあり、付近に南竜山荘などがある。周辺にケビンとキャンプ指定地があり、テントサイトのほか炊事舎、トイレがある。

開館日：7月1日～10月15日

TEL（予約専用電話）：076-259-2022

（8:00～13:00、14:00～17:00）

<http://www.city-hakusan.com/stay/nanryu.html>



市ノ瀬ビジターセンター／市ノ瀬野営場

白山の主要登山口である別当出合に至る県道の途中にある。室堂からの気象情報や、各登山ルートや周辺散策路における植物の開花情報など、登山や散策に必要な情報が充実している。周辺にキャンプ場があり、ここで受付を行っている。

住所：〒920-2501 石川県白山市白峰（市ノ瀬）

開館日：5月1日～11月上旬（積雪によって変更あり）

TEL：076-259-2504

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/hakusan/ichinose/index.html>



中宮温泉ビジターセンター・中宮展示館／中宮温泉野営場

中宮周辺で見られる生き物を中心に、白山の自然や地質に関する紹介のほか、ブナ林の自然を疑似体験したり、白山を生活の場とした人々の文化にふれることもできる。周辺にある中宮レストハウスに架かる橋を渡った対岸にキャンプ場がある。

・中宮温泉ビジターセンター・中宮展示館

住所：〒920-2324 石川県白山市中宮才9

開館日：5月1日～11月上旬（積雪によって変更あり）

TEL：076-256-7111

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/hakusan/chuuguu/index.html>

・中宮温泉野営場

住所：〒920-2333 石川県白山市中宮ク1-2

営業日：6月上旬～11月上旬

TEL：076-272-1116（白山市地域振興公社）



白山室堂ビジターセンター／白山室堂／白山雷鳥荘

白山白川郷ホワイトロードの石川県側の入口近くにあり、ニホンカモシカ、ニホンザル、ツキノワグマ、イヌワシなど野生動物を観察できる。室内で大型双眼鏡や望遠鏡で自由に野生動物を観察することができ、野外でかんじき体験なども行っている。冬季のみ開館。

住所：〒920-2333 石川県白山市尾添ソ72-5

開館日：11月20日～5月5日（年末年始を除く）

TEL：076-256-7250

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/hakusan/bunao/index.html>



白山国立公園センター

白山国立公園の玄関口があり、白山の自然・文化や白山国立公園の利用情報を入手することができる。映像ライブラリーや情報検索ソフトで白山についての知識を深めることができ、研修会や講演会、写真展も随時開催されている。

住所：〒920-2501 石川県白山市白峰ツ57乙

開館日：通年（休館：木曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始）

TEL：076-259-2320

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/hakusan/haku2.html#kouen>



白山文化博物館

3つの大画面映像による白山登拝体験をはじめ、白山に関する文化、史跡・施設の紹介や、美濃馬場を中心とした文化財展示室、昔の生活道具などの歴史民族展示室、ミュージアムショップがある。

住所：〒501-5104 岐阜県郡上市白鳥町長滝402

開館日：通年（休館：火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始）

TEL：0575-85-2663

<http://shirotori.gujo.to/html/kanko/hakubutukan.htm>



福井県自然保護センター

奥越高原県立自然公園内の六呂師高原にあり、「身近な自然から宇宙まで」をテーマに、福井の自然を紹介するジオラマ展示室や生き物を観察できる野外観察室がある。周辺の森で行われる観察会にも参加でき、週末は天体観察会やプラネタリウムを楽しめる。

住所：〒912-0131 福井県大野市南六呂師169-11-2

開館日：通年（休館：月曜日、祝日の翌日、年末年始）

TEL：0779-67-1655

<http://fncc.pref.fukui.lg.jp/>



小池公園／小池野営場

刈込池への散策起点となる小池公園内にあり、芝生のサイトや木のデッキのサイトがある。風呂はなく、約8km下流の鳩ヶ湯温泉で入ることができる。

住所：福井県大野市上小池

営業日：5月上旬～11月上旬（積雪によって変更あり）

TEL（大野市観光振興課）：0779-66-1111

（8:30～17:15（月～金））



白山平泉寺歴史探遊館 まほろば

白山信仰の拠点として栄えた平泉寺の入口にある総合案内施設。平泉寺や白山にまつわる1300年の歴史を大型モニター映像やタッチパネル、発掘調査での出土品などを用いて紹介している。わら細工、史跡見学会などの体験学習も計画している。

住所：〒911-0822 福井県勝山市平泉寺町平泉寺66-2-12

開館日：通年（休館：年末年始）

TEL：0779-87-6001

<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/heisenji>



桂湖ビジターセンター／桂湖オートキャンプ場

周辺の動植物などを紹介する展示室や、五箇山の人々の暮らしなどの映像を見ることができる。カヌーのレンタルも行っており、桂湖の水上体験もできる。オートキャンプ場やコテージも併設されている。

住所：〒939-1969 富山県南砺市桂

開館日：5月上旬～10月下旬

TEL：0763-67-3120

<http://www.gokayama-kankou.com/contents1.html>



昭和37(1962)年国立公園指定 白山国立公園 Guide Map

白山国立公園の概要

日本三名山として古くから親しまれている白山。山頂付近のお池巡りの火山地形や豊富な高山植物、世界でも有数の豪雪地帯に広大なブナ原生林をはじめとした豊かな自然を残し、多様な動植物の命を育んでいる。白山は、最高峰の御前峰（標高 2,702m）を中心に、およそ南北 40km、東西 30km にわたる山岳自然公園である。

白山国立公園は富山、石川、福井、岐阜の4県7市村にまたがり、各県から登山道が通り、変化に富んだ山行を楽しむことができる。山中での食事付きの宿泊施設は白山室堂と南竜山荘のみであり、縦走路の途中に有人の山小屋はない。駿迎新道を除く全てのコースにある無人の避難小屋を利用して登山ができる。

様々な保護地域

白山は、豊かな生態系の価値が認められ、国立公園のほかにも鳥類や哺乳類の保護を図る国指定白山鳥獣保護区、特別天然記念物ニホンカモシカを保護する白山カモシカ保護地域、原生林を保護し後世に引き継ぐ森林生態系保護地域（野生動植物の移動経路を確保し、生息地の拡大や交流を図る「白山山系緑の回廊」も設定）、ユネスコ「人間と生物圏計画（MAB）」に基づく生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）など、様々な保護地域に指定されている。

白山国立公園概要表

指 定 昭和 30 年 7 月 1 日（白山国定公園指定）
昭和 37 年 11 月 12 日（白山国立公園指定）

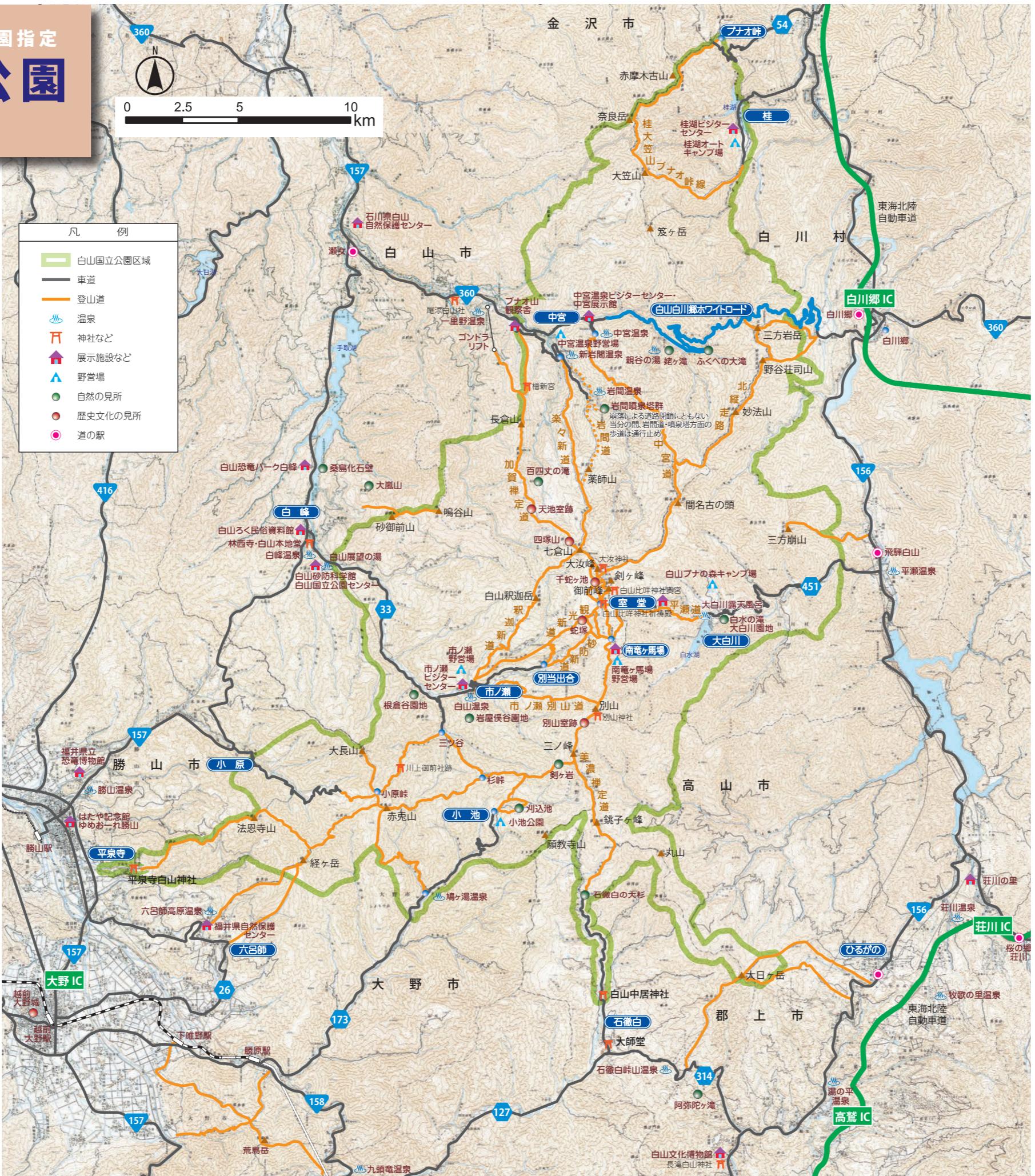
面 積 指定面積 49,900ha

市町村 富山県：南砺市

区 域 石川県：白山市

福井県：大野市・勝山市

岐阜県：高山市・郡上市・白川村



白山への交通案内

石川エリア

- 市ノ瀬地区(別当出合登山口)
 - JR金沢駅 → 白山登山バス → 市ノ瀬《約2時間10分》
 - 小松空港 → タクシーまたはバス → 別当出合《約1時間50分》
 - 北陸自動車道白山IC → 別当出合《約1時間50分》
 - 中部縦貫自動車道勝山IC → 別当出合《約1時間10分》
- 中宮地区
 - 北陸自動車道小松IC → 中宮温泉《約1時間》
 - 北陸鉄道白山線鶴来駅 → 加賀白山バス → 濑女《約40分》
 - 瀬女 → 白山市コミュニティバス(要事前予約) → 中宮温泉《約35分》
 - 北陸自動車道白山IC → 中宮温泉《約1時間》

岐阜エリア

- 大白川地区
 - JR高山駅 → 濃飛バス → 平瀬温泉《約1時間10分》
 - 平瀬温泉 → タクシーまたはバス → 大白川《約40分》
 - 富山空港 → タクシー → 大白川《約2時間》
 - 東海北陸自動車道莊川IC → 大白川《約1時間10分》
 - 東海北陸自動車道白川郷IC → 大白川《約1時間》
- 石徹白地区
 - 東海北陸自動車道白鳥IC → 登山口《約1時間》
 - 長良川鉄道美濃白鳥駅 → タクシー → 登山口《約50分》

福井エリア

- 小池地区
 - JR越美北線越前大野駅 → 市営バス白山線 → 鳩ヶ湯《約40分》
 - 鳩ヶ湯 → 歩歩 → 上小池駐車場《約2時間》
 - 中部縦貫自動車道大野IC → 上小池駐車場《約1時間10分》
 - 東海北陸自動車道白鳥IC → 上小池駐車場《約1時間50分》
 - JR越美北線越前大野駅 → タクシー → 上小池駐車場《約1時間》
- 小原地区
 - 中部縦貫自動車道勝山IC → 小原登山口《約1時間》
 - 東海北陸自動車道白鳥IC → 小原登山口《約2時間30分》
 - えちぜん鉄道勝山駅 → タクシー → 小原集落《約30分》
 - 小原集落 → タクシー → 小原登山口《約30分》

富山エリア

- 東海北陸自動車道五箇山IC → 桂湖《約20分》
- *別当出合、中宮温泉、大白川、鳩ヶ湯へのバスは夏山シーズンのみの運転。
- *白山国立公園への道と白山白川郷ホワイトロードは冬期通行止めとなります。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 万分の 1 地形図を複製したものである。
(承認番号 平 24 情報 第 472 号)

環境省中部地方環境事務所

〒 460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸 2-5-2

TEL 052-955-2130 FAX 052-951-8889

<http://chubu.env.go.jp/>

白山自然保護官事務所

〒 920-2501 石川県白山市白峰一丁目 25-1

TEL 076-259-2902 FAX 076-259-2085

<http://www.env.go.jp/park/hakusan/>

日本の国立公園 17



御前峰から望むご来光の様子

【写真協力】

石川県白山自然保護センター、福井県自然保護センター、福井県立恐竜博物館、
大野市、白川村、白山市、白山市観光連盟、白山手取川ジオパーク推進協議会、
豊実精工(株)、(公財)石川県林業公社、永田泰山、木下幸雄、木村芳文、
白井伸和、梅典雅、山崎富美雄、山根勝、米山競一(敬称略)